

令和6年4月22日

JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING) ～博士後期課程学生の挑戦を支援する～ に採択されました

この度、本学の提案する「地域密着型イノベーションを可能とする次世代研究者育成プログラム」が、科学技術振興機構（JST）「次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING) ～博士後期課程学生の挑戦を支援する～」に採択されました。

本事業は、我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を強化することにより、博士人材が幅広く活躍できる独自のキャリアパスの整備をする大学の取組を支援するものです。

令和6年度から優秀な本学の創発科学研究科博士後期課程と医学系研究科の博士後期課程相当の学生に対し、生活費相当額及び研究費の支給（一人当たり約260万円×16人）、キャリア開発・育成コンテンツ（国際性と学際性の涵養、キャリア開発、トランスファラブルスキル*の習得、インターンシップ等）をはじめとする様々な支援を提供します。

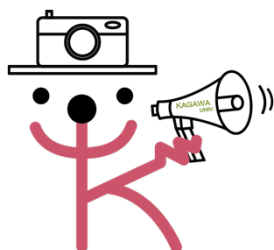
つきましては、是非取材くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

※トランスファラブルスキルとは

博士課程では大学等の研究者としてチームでの研究スタイルに対応していくためのスキルのみならず、幅広い職業選択の機会を確保するために企業等のアカデミア以外の場でも活躍できるスキルが必要となります。このうち、一般的にはさまざまな職種や業種の企業で応用できるものをトランスファラブルスキルと言い、例として適応力、情報整理、チームワークなど、採用企業が求める能力が挙げられます。

【本学の取組】

ニッチトップ企業も多数存在する広い産業分野の中小企業が集積し、物理的にも小さな地方都市で、産業との距離が近いという香川県の特徴を strong point として、そのアクセスの良さを最大限活用し、地域の産業・自治体・公的研究機関等で必要とされる知識や能力、技術などを「総合知」として一括に捉え、学生に共有します。特に、“少子”+“高齢”化に伴うヘルスケア（医療）や、地域産業に貢献できる医療/生態分野、農業分野の学生を、ロボット、AI、DX、医療分野産業に輩出することに特化し、地方における現場のニーズをあらゆる角度から検証する機会を提供します。地方都市のライフスタイルから明らかになったニーズから、ビジネスチャンスを生み出し、地方で挑戦できる環境を官民で最大限サポートすることで、地域密着型イノベーションを創出できる次世代型研究者を輩出する大学を目指します。



お問い合わせ先

香川大学 創発科学研究科長・創造工学部長 教授 末永 慶寛

TEL : 087-864-2000 E-mail : suenaga.yoshihiro@kagawa-u.ac.jp

医療分野に関する質問

香川大学 医学系研究科長・医学部長 教授 西山 成

TEL : 087-891-2005 E-mail : nishiyama.akira@kagawa-u.ac.jp

「地域密着型イノベーションを可能とする次世代研究者育成プログラム」

医工連携による 優秀学生の選抜

研究専念意欲、
将来性、
研究に至る背景、
着想力、
オリジナリティ、
研究遂行能力、
科学技術イノベー
ションへの意思、
etc.

海外留学・海外派遣研修

実践型インターンシップによる
研究成果の実装

トランスファラブルスキルの
習得

地域ニーズを満たす
キャリアパス開発

博士後期課程
学生による
既存の枠組み
に囚われない
自由で挑戦的
な創発研究

優秀な博士後
期課程学生を
多様な
キャリアパス
で活躍できる
博士人材へ

地域密着型イノベーション の人材像

人材像①：ロボット・AI・DX
医療における機器・システム開
発に必要な医療と工学知識を合
わせ持つエキスパート

人材像②：未来医療で求められ
る生体データの解析に特化した
医療知識を持つ次世代型システ
ムエンジニア

人材像③：農業・漁業従事者の
身体活動の可視化と作業の最適
化に特化した次世代型リハビリ
エンジニア

人材像④：デザインによる健康
作り（例えば、小児予防医学）
に特化した医療知識を持ち合わ
せる創発人材育成

生活費・研究費の助成：学生が研究に専念できる環境を安定的・継続的に整備

地域イノベーション創造の原動力

